

わが内なる母語 要旨 岡野弘彦

一、戦中派には自らの言葉がなかった。

(1) 天皇即神論を核にした軍国教育。

(2) 天皇にも言葉がなかった。

(3) 戦後派作家の作品と『戦艦大和』。

(4) 出征の夜の母の言葉。

二、敗戦後の旅

(1) 伊勢・志摩・熊野の旅 (昭和20年9月)。

(2) 大和・山城・近江の旅 (昭和21年4月)。

(3) 近江で感じた文学伝承。

三、折口信夫とのめぐりあい。

(1) 東歌・防人歌のことばとところ

(2) 神やぶれにまふしという思い。

(3) うたに「ものかた」によりて伝承

されるもの。古事記・万葉集。源氏物語

(4) 源氏物語が周いたもの。

「やまとことば」による文芸の復興

「わが内なる母語」資料

一 炎の桜

ニ バクダツド燃ゆ

三 ことたま

四 紅葉の北帰行

五 わが原初のうた

CHARIZER X